

第1回新潟市文化創造推進委員会 意見と対応について

1. 新潟市文化創造都市ビジョンについて

NO.	意見	区分・項目	対応(案)
1	ターゲットを、文化プログラムに絞るのか、市民がよりよく生きるための文化という意味に絞るのか。	全体・基本理念	○2020年東京大会は、本市の文化創造都市への取り組みを推進するための「またとない契機」として捉える。 ○基本理念をより具体的に「新潟市の目指す文化創造都市の姿」として、新たに記載する。 ＜素案＞ 1 子どもから高齢者まで、あらゆる人々が文化芸術に生き生きと参画している 2 新潟らしい文化の魅力が世界へ発信されている 3 2020年東京大会を契機に全市で文化プログラムが展開され、その効果が大会後も継承されている 4 文化芸術に従事する人々が安心して希望を持ちながら働き、新たな雇用や産業が創出されている
2	「オリンピックのために」のような表現を付けると、市民は自分たちのためではなく、オリンピックのためにやるのではないかという反対があるのではないか。	全体・基本理念	
3	世界規模で発信できるような施策、方向、ビジョンを持つておくことは重要。	全体・基本方針	○基本方針2「新潟文化の個性と多様性の伸長～「新潟らしさ」を深め、国内外へ発信」として、世界に向けた発信を強く意識した内容とする。 ○発信にあたっては、本市の「顔」となる世界に誇れる文化芸術活動を発信していきたい。 →具体的なコンテンツについてご意見をいただきたい
4	「新潟らしさ」をビジョンの中に盛り込んでもらいたい。	全体・基本方針	○基本方針2「新潟文化の個性と多様性の伸長」の中で整理する。 ○市民アンケートの設問に「新潟市の文化の特徴だと思うもの(○は3つまで)」を設け、その結果も反映する。 →「新潟らしさ」としての掲載内容について、ご意見をいただきたい
5	新潟独自である気候・風土といったものが文化に反映できると、よりよいものであり、世界に発信する最もわかりやすい方法なのだろう。	全体・基本方針	
6	昔から新しいものを積極的に入れてきた文化、いろいろなものを融合できる才能というのが、新潟らしさとして挙げられるのではないか。	全体・基本方針	○基本方針2「新潟文化の個性と多様性の伸長」の中で、「水と土の文化」「みなとまち文化」として強調
7	新潟市として打ち出したいものに基づいたものを重点的にやっていく方向性があると対外的にもやりやすいのではないか。	全体・基本方針	○「打ち出したいもの」については、基本方針2「新潟文化の個性と多様性の伸長」で整理し、「重点的に取り組む方向性」については、基本方針3「文化を活かした創造都市の実現」で整理する。
8	市民側から見るビジョンも併せて作ることができれば発信しやすいのでは。	全体	○文化活動を行っている市民や、本推進委員によるコラムをビジョンに掲載することを検討
9	「課題」の数を減らしてもよいのではないか。	現状と課題	○ビジョンへの掲載は、「文化を取り巻く現状と課題」(地方創生、2020年東京大会、情報環境の高度化など)のみとする。 ○市の政策課題(他の政策分野との連携やPR力の不足など)については、その解決策を取り組みとしてビジョンに反映・掲載することとする。
10	素材はしっかりあるのに伝わっていないというのが問題だと思う。「情報発信」という要素を加えた方がよい。	課題 重点施策 (キーワード)	○基本方針2「新潟文化の個性と多様性の伸長～「新潟らしさ」を深め、国内外へ発信」として、世界に向けた発信を強く意識した内容とする。
11	「定住人口の拡大」はこれから5年間のビジョンに盛り込むものとして違和感がある。	全体	
12	「交流定住人口の拡大」は掲げなくても、結果ついてくる。	全体	○「交流人口の拡大」と「定住人口の拡大」は、両輪として整理する。
13	到達すべき目的と手段、短期的な視点と長期的な視点が混在しているのではないか。	全体	○到達すべき目的は「めざす姿」として整理し、手段は施策として整理する。 ○ビジョンの計画期間である今後5年間の取り組みとして整理しつつも、その後の継続性・発展性を見据えた視点も盛り込むこととする。

NO.	意見	区分・項目	対応(案)
14	ビジョンの中には大きな言葉も必要だが、もう少し小さくて偏ったものが、まちの自慢になりえるのではないか。	全体	○基本方針2「新潟文化の個性と多様性の伸長」の中で、ひとりひとりの大切に「魅力」も「文化資源」として整理していく。
15	「マンガ・アニメツーリズム」は、ひとつの言葉に複数の要素が入っている。	重点施策 (キーワード)	○「マンガ・アニメ」と「ツーリズム」は、分けて整理する。
16	「広域連携」「広域的な文化の連携」という方向性を打ち出した方がよい。 例) 日本アニメーション100周年との連携、パフォーミング・アーツでヨーロッパからの誘客、羽越線沿線上と空港を結んだ食文化の流れ、縄文土器と新潟漆器と空港を結んだ流れ、など	重点施策	○基本方針3「文化を活かした創造都市の実現」に「広域的な文化の連携」を盛り込む。 【都市間連携】事例 「千の風になって」交流・協力に関する協定、H28日本遺産認定「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国文化の取り組み など 【事業連携】事例 「マンガ・アニメ」による、がたふえす・京まふ(京都市)・アニ玉祭(埼玉県)での連携 など 【施設間連携】事例 磐越自動車道沿線施設連携：共通割引券(マリニピア日本海、アクアマリンふくしま、いなわしろカワセミ水族館、いわき市石炭・化石館、諸橋近代美術館、あぶくま洞、野口英世記念館)、NIIGATAアートリンク：スタンプラリー(市美術館、新津美術館、近代美術館、万代島美術館) など
17	新潟は今すごくいいソフトコンテンツが集積している状態。日本国内、さまざまなコンテンツとタグを組んでいくというのはあり。	重点施策	
18	食文化での取組では、農家レストランに新しいツーリズムという言葉をつけてビジネスとして展開をしていくことが可能なのかと考えている	重点施策	○基本方針3「文化を活かした創造都市の実現」中に盛り込む、食文化の項目で整理。 「(仮称)新潟市食文化創造都市推進計画」で検討
19	アーツカウンシルについても情報発信ができるようなPR担当を。情報発信にデザインという要素を加えたほうがよい	推進体制	○今年度募集しているプログラムオフィサー2名のうち1名の中心業務の一つに広報を位置づける。 ○文化プログラムや支援制度を一体的に発信するホームページを作成し、分かりやすく伝えるデザインを重視する
20	どんな文化に対して助成していくのか。新潟市として打ち出したいものに基づいたものを重点的にやっていく方向性があると対外的にもやりやすいのではないか。(再掲)	推進体制	○メディア芸術や食文化などの分野への広がり、ビジョンにおける重点施策との方向性も含め、プログラムディレクターと検討。
21	目標を掲げるとすれば、「世界で唯一」「世界いちになるものをつくる」など、より具体的なものがあると、自分のまちを自慢しやすい。	成果目標・指標	
22	成果指標として来館者数やイベントへの来場者数を設けるのは本末転倒になってしまう。「世界一なものを5つ」のような、シンプルでわかりやすく、実際に意味のある目標を立てると、「活性化」の意味が明らかになるのではないか。	成果目標・指標	○成果目標、成果指標には、定量的な項目だけではなく、定性的な項目も入れるよう検討する。

2. 新潟版文化プログラムについて

NO.	意見	区分・項目	対応(案)
1	文化プログラムは、それが終わったあと、この新潟にどういう効果、影響をもたらすのかというところを念頭に組み立てられていく。文化プログラムは手段。	文化プログラム	○文化プログラムの実施にあたっては、新潟版文化プログラムの基本方針(案) ①文化芸術にあらゆる人が参加できる機会の提供 ②世界に向けた新潟らしさの魅力発信 ③さまざまな分野との連携による産業・雇用創出を念頭に組み立ていく
2	課題に対してアプローチするプログラムというのは少ない印象。新潟が持っている独自の課題に対する文化プログラムがあると、もう少し特色のあるプログラムになる 例) 障がい者の就労率が全国的に見て悪い →障がい者アートを企業や公に貸し出し、賃金向上につなげる、雇用自体につながる。	文化プログラム	○課題解決型の事業への取組み ・民間団体の事業への支援 ・既存事業においても、課題へアプローチする視点を含めることが可能か検討
3	外へ向けて特化したものがあつたほうがいいし、中向けだといろいろなものが肯定されているというのがある。	文化プログラム	○アーツカウンシルスタッフとともに、市内外に向けたPRの枠組み・素材を整理 ・外向けにアピール力のあるコンテンツの選定、発信戦略の検討 ・幅広く文化プログラムの認定、広報等支援